

# 信用金庫のビジョン・当金庫の経営基本方針

## 【信用金庫のビジョン】

信用金庫は、中小企業や地域住民のための協同組織による地域金融機関です。協同組織は、相互扶助を基本理念としており、会員や利用者ならびに地域のニーズにお応えすることを経営の基本にしています。

信用金庫は、その社会的使命・役割の達成に向けて、次の3つのビジョンを掲げております。

1. 中小企業の健全な発展
2. 豊かな国民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

## 【経営基本方針】

私たちは金庫職員として、お客様との共存共栄を基本理念とし、親切・信頼・正確をモットーに業務を行い、もって地域社会の経済的文化的発展に貢献する。

### ■貸出金運営についての考え方

当金庫は、協同組織の原点である相互扶助の基本理念の下、地域社会の繁栄を目標にFace to Faceの活動により信用金庫業務の公的使命を、貸出業務を通じて実践しています。

中小企業や個人事業者の皆様には地域金融機関として幅広いニーズに的確に対応できるように無担保・無保証

商品をはじめとして各種制度融資など融資商品の充実を図り、迅速なサービスに努めています。

今後とも地元金融機関としての使命に基づき、事業資金、住宅ローンなど豊富な金融商品を取り揃え、お客様の多様化するニーズにきめ細かくお応えしてまいりたいと考えております。

### ■中小企業者等の金融円滑化に関する取組み方針

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に取り組んでまいりました。

平成21年12月に施行された「中小企業金融円滑化法」は平成25年3月末をもって期限が到来しましたが、当金庫の金融円滑化に向けた基本方針については、同法の期限到来後においても何ら変更ございません。

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

当金庫は、今後もお客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまで同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、解決に向けて真摯に取り組んでまいります。

### ■金融仲介機能のベンチマークに関連した取組み

金融庁は、平成28年9月に「金融仲介機能のベンチマーク」を公表しました。ベンチマークは、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標であり、この指標を用いて、各金融機関が自身の取組みの進捗状況や課題等について認識し、金融仲介の質を一層高めることを目的としています。

当金庫では、地域密着型金融推進計画を通じて、中小企業金融の円滑化、お客様の利便性向上、経営力の強

化に努めてまいりました。地域密着型金融推進計画における地域の皆さまとのリレーション強化に向けた取組みは、まさに地域貢献の取組みそのものであり、ベンチマークの趣旨に繋がるものであります。

ベンチマークについては、お取引先や地域社会に対する当金庫の貢献度合いを客観的に評価し、経営戦略を考える上でも有効な指標と位置付けて、今後も取り組んでいく方針としております。